

OBSESSION

「最小にして最大のオーケストラ」

ジュリアード音楽院卒業、国際的に活躍する日本が誇るクラシックピアニスト三船優子と、山下洋輔ニュートリオで鮮烈デビュー、以後30ヵ国以上の海外公演を経験し、独自のスタイルで様々なジャンルを凌駕するドラマー堀越彰によって2014年に結成されたOBSESSION。クラシックピアノとドラムのアンサンブルが化学反応を起こし、耳馴染みのあるクラシックの名曲に「高揚感」と「疾走感」という命が吹き込まれ新しい風を起こした、世界でも稀なデュオ。

今までに二枚のアルバムを発売、レコード藝術にて特選盤となり大きな反響を呼び、以後全国各地でコンサートはもとより、オーケストラとの共演、海外公演(インドネシア、シンガポール)、Kidsワークショップ、アウトリーチ、チャリティーコンサートなど幅広く活躍、ジャンルを越えたファン層を広げている。



©武藤章

三船優子 (ピアノ)

幼少期をNYで過ごし、市原光子、ジェローム・ローエンターールに師事。帰国後、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子に師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学を首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院へ留学、マーティン・キャンニンに師事。91年にアメリカデビューを果たし、L.A. Timesにて絶賛、クラシックラジオ局WQXRにて全米放送、高評を得る。同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール、ジュリアードソリストオーディションで優勝、卒業記念コンサートをソリストとして飾る。

帰国後は、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。モスクワ交響楽団、パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団等との日本ツアーをはじめ、内外数々の主要オーケストラと共演。

ラジオのパーソナリティ、また6年間に亘りNHK-BS「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、メディアでも活躍。これまでにアルバムも多数発表、いずれも特選盤となる。DVD付きピアノ教則本の監修をはじめ、幼児教育にも録音やワークショップ等で積極的に活動。異ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数行なう。

バロックから現代作品まで幅広いレパートリーをもち、シャープなタッチからは、気品と色彩感にあふれた音色が放たれる。華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了しつづける、日本を代表するピアニストのひとりである。

京都市立芸術大学教授。

HP : yukomifune.com



堀越 彰（ドラム&パーカッション）

海老沢一博氏、村上“ポンタ”秀一氏に師事。'90年、オーディションを経て「山下洋輔ニュートリオ」でデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギー野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。その後「山下洋輔デュオプラス」としても、十年に及びレギュラーユニットとして活動。

ジャズのみならず邦楽、民俗音楽とのセッションなど、幅広いジャンルにおいて国内外で活躍。イベント構成・演出も手がけ、楽曲提供も行なう。

'12年尺八奏者小濱明人と「LOTUS POSITION」結成。山下洋輔をゲストに迎え、国際交流基金主催でチェコ・スロヴァキア四都市ツアーを成功させ、アルバムもリリース。

深町純 pf、渡辺 剛 vl とと共に“The WILL”、薩摩琵琶や能管尺八と組んだ「東方異聞」、シルク・ド・ソレイユで活躍したパフォーマー、フィリップ・エマールらと組む“INSTINCT”などでも活動。

デヴィッド・ルヴォー演出舞台『ETERNAL CHIKAMATSU』『黒蜥蜴』『道』2024年の春は香取慎吾主演『テラヤマキャバレー』の音楽メンバーとして連続参加。

子供たちに生の音楽を届けるワークショップ、アウトリーチ活動にも積極的に取り組む。都内に2カ所のドラムスクールのほか、日本工学院でも教える。

Canopus エンドーサー。

HP: akirahorikoshi.com



田部井 剛（指揮・ピアノ）

早稲田大学商学部卒業、東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。指揮法を遠藤雅古、広上淳一、佐藤功太郎の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひの諸氏に師事。芸大在学中に、日本フィルを指揮し、巨匠エリック・ハイドシェック氏と、デラノワ作曲「五月の協奏曲」を共演(日本初演)。第1回ロリン・マゼール国際指揮者コンクールに参加、「アジアの優秀な若手指揮者10人」にノミネートされた。これまでに、新日本フィル、東京フィル、群馬交響楽団、東京佼成ウインド等を指揮。ハイドシェック氏とは共演を重ね、カメラータジオンとのライブ録音、仏アンテグラル社よりリリースされている。チェコの名門、ターリヒ室内管とモーツァルトの交響曲をレコーディング。またピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル氏を始めとする著名なアーティストと共演を重ねている。



@井村重人

青柳いづみこ（ピアノ）

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ピエール・バルビゼの両氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ね、著作は34点、CDは24点。『翼のはえた指』で吉田秀和賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞。2023年には高橋悠治とのアルバム『シューベルトの手紙』（ALM）、『仮面のある風景 F・クープラン作品集』（TKI）、西本夏生とのアルバム『カプリス』（ALM）をリリース。書籍は『ショパン・コンクール見聞録革命を起こした若きピアニストたち』（集英社新書）、『パリの音楽サロン ベルエポックから狂乱の時代まで』（岩波新書）。日本演奏連盟、日本ショパン協会理事。大阪音楽大学名誉教授。兵庫県養父市芸術監督。



© Akira MUTO

<https://ondine-i.net>